

学校・家庭・地域との連携による読書活動の推進

学校名 三郷市立高州小学校
所在地 三郷市高州2-275
電話 048-955-0097

1 本校の概要

本校は、県営みさと公園が学区内にあり、水と緑の豊かな自然環境に恵まれている。目指す学校像を「豊かな心を育み、地域とともに歩む学校」とし、「～学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい 高州小～」を合言葉に教育活動を推進している。



2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ d 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 学校全体の取組

読書により、様々な語彙や文章に触れ、豊かな心を育むことを目的に、学校図書館年間貸出冊数を低学年 90 冊、中学年 70 冊、高学年 70 冊、年間レファレンス回数 500 回を目標に設定した。全校では、週に1度の昼の読書タイム、毎月の家庭読書の日、10月の読書月間の取組を行った。1月の読書ウィークには、作家をお招きして講演会を行う予定である。



イ 児童主体の読書活動

10月の読書月間には、図書委員会の児童が様々なイベントを企画・実施した。読書月間では、貸出可能冊数を普段の3冊から5冊に増やすとともに、様々な分野の図書に親しんでもらうための「読書ビンゴ」を行い、1列ビンゴするたびにおみくじを引け、全てビンゴすると図書委員会作成のしおりがもらえる特典を付けた。また、図書委員による読み聞かせを実施した。



2学期には、縦割り班による読み聞かせを実施し、6年生は3年生へ、5年生は2年生へ、4年生は1年生へ読み聞かせした。その他、国語の学習と関連付けて、学年を越えた読み聞かせや本の紹介を各学年が行っている。3学期には、近くの幼稚園や保育所と連携し、5・6年生が園児に読み聞かせを行う予定である。

ウ 教員による読書活動の推進

読書に親しむことができるよう、国語や読書タイムに担任が学級の児童に読み聞かせをしている。また、定期的に学校図書館に行く機会を設け、新たな本と出会わせている。担任ではない教員が学級に来て読み聞かせを行う「シャッフル読み聞かせ」も行っている。

エ 学校応援団による読書環境の充実

今年度は、学校応援団の組織を拡充し、読み聞かせを行ってくださる「おはなしクラブ」に加え、学校図書館のPR活動や本の修繕、掲示物を制作してくださる「ほっとしよクラブ」が誕生した。「おはなしクラブ」は、昼の読書タイムの時間に来校し、各学年の教室で読み聞かせを行ってくださっている。また、「ほっとしよクラブ」は、1階児童玄関のホワイトボードを利用して、児童が学校図書館に足を運びたくなるような掲示をしてくださったり、PTAから寄贈される本の投票を企画してくださったりしている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 読書月間や学校応援団等の取組により、今まで手に取らなかった分野の本を楽しむ姿が多く見られ、読書の幅が広がった。
- ・ 異学年との交流を通して、相手意識をもった選書・読み聞かせや様々な読書活動を行うことができた。

(2) 課題

- ・ 学級間で取組状況に差があるため、取組を共有しながら日頃の読書活動を充実させる必要がある。
- ・ レファレンスの活用があまりなされていないため、学校図書館司書の専門性を生かせるような呼びかけや説明が必要である。

(3) おわりに

本校は、保護者や学校応援団の協力を恵まれている学校である。その環境を大切に、今後も学校・家庭・地域で連携しながら、児童の読書習慣を形成していきたい。